

2019年度 理事長所信

一般社団法人山辺青年会議所
2019年度 第45代理事長
渡邊 直志

【はじめに】

終戦後の混沌とした時代背景の中、1949年に「新日本の再建は私たち青年の仕事である」という志の下に、東京に日本で最初の青年会議所が設立されました。その後、同じ志を持った青年有志により全国各地で青年会議所が設立されました。ここやまのべ・なかやま東村山の地域においても誇り高き志を持った青年経済人が集い592番目の認証番号を受け、1975年に山辺青年会議所が設立され、今年で45年を迎えます。設立以来45年、先輩諸兄は青年会議所が掲げる「明るい豊かな社会の実現」を目指し、「個人の修練」「社会への奉仕」「世界との友情」の三信条を活動の基本とし、社会情勢や時代の変化に対応しながら、地域の未来を見据え、地域のリーダーとして率先して様々な運動を展開してこられました。この歴史と伝統、高き志を受け継いでくださいました先輩諸兄に深く感謝と敬意を表すると同時に先輩諸兄が築き上げた運動を振り返り、山辺青年会議所の社会的価値を確認する機会です。本年は今、我々がすべき事は何なのかを考えメンバーと共に運動を展開してまいります。そして山辺青年会議所の歴史と伝統、高き志を未来に受け継いでまいります。

【創立45周年を迎えるにあたり】

創立45周年という節目を迎えるにあたり、山辺青年会議所の歴史と伝統、高き志を今に受け継いでくださいました先輩諸兄に改めて感謝すると同時に、地域の各諸団体と地域住民の協力がありこれまで運動を続けてこられました。そして、スポンサー青年会議所である公益社団法人寒河江青年会議所、県内外全国で同じ志の下運動する青年会議所の会員からの刺激を受けて運動を継続してこられました。地域社会とともにまちづくり、ひとづくりをしてきたから今の山辺青年会議所があります。伝統と高き志を受け継いでくださいました先輩諸兄、常に刺激を与えてくれる同士がいるから今の我々がいます。創立45周年記念式典等を通し、これまでの山辺青年会議所の運動に敬意を表し、今に感謝をし、未来を見据えた節目の場としたいと思います。

また、これまで共に成長しながら運動を展開してきました、地域の各諸団体、同じ志の下運動する他青年会議所会員との絆は強固なものであり、未来へと受け継いでいかなければならないものです。この節目を機に、さらに強固なものとし、山辺青年会議所の社会的価値を向上させメンバー一丸となり未来へ歩んでまいります。

【組織力と個の力の強化】

皆さんは「成功」とはどのような状態のときに成功したと思うのでしょうか？事業や例会が成功した、目的が達成できたと感じた時（結果）、メンバーの行動は無駄なくスムーズで大きなトラブルは無かったのではないのでしょうか（行動）。委員会や理事会で活発な意見が飛び交いより良い事業構築が出来たと思います（思考）。その様な時はメンバー同士の関係性が良い状態だと思います（関係）。逆に考えると、結果の質を上げようと、無理な行動をしたり、求めたりすると、思考の質が下がり、さらに関係の質が下がる悪循環になります。結果を変えるカギは「関係の質」の向上にあると考えます。関係の質は、メンバー同士の仲が良い状態は当然ですが、組織としての「あり方」の状態をいいます。誰かがやってくれる、自分は知らなかったということの無いように、自分に与えられた業務をこなす事で、関係性の質が向上すると考えます。そして、メンバー全員が同じ目的達成のために取り組むことで、組織力の強化を目指します。

青年会議所は地域から必要とされ信頼される組織であり、メンバー一人ひとりが J A Y C E E としての自覚を持ち行動しなければなりません。その為には、自己成長は必要です。我々は、目指す目標や目的を達成するために、メンバーが集い、互いに力をあわせ、議論を重ね解決策を探す「英知」、地域の未来のために行動する「勇氣」と「情熱」を常に持って運動を展開しています。目的が達成できる事もあれば、できない事もあります。正しい解決策を見つける過程で議論を重ねぶつかり合う時もあるかもしれません。しかし、情熱を持って勇氣を出して行動し、正しい解決策を見つけるために議論を重ねるプロセスこそが自己の成長に繋がり、地域から必要とされる人材へと成長することに繋がると考えます。

【会員拡大の実践】

青年会議所は地域の明るい豊かな社会の実現のためにまちづくりやひとづくり事業をこれまで展開し続けてまいりました。しかし近年、全国的に会員減少が課題とされ、山辺青年会議所においても最大の問題であり、早急な課題です。

青年会議所は、主にまちづくりやひとづくりをする団体ですが、沢山の仲間と出会い、自己の成長、家業発展のヒント、社会人としての立ち振る舞い、その他にも沢山の事を学ぶことのできる団体です。入会候補者はこの現実を知りません。そして、一人ひとり興味がある項目が違うと思います。入会候補者リストを見直し、一人ひとりに青年会議所の魅力と同時に青年会議所の存在価値を伝え会員拡大を図る必要があります。山形ブロック協議会と連携を図り各地の拡大成功事例等の手法を積極的に取り入れ会員拡大を進めて参ります。そして新しく入会したメンバーが、楽しく力強く運動を展開でき、自らの入会目的を達成できるように責任のあるフォローアップをしていきたいと考えています。

【未来を見据えたまちづくりと災害に強い地域づくり】

2040年、全国の過半数の自治体が消滅可能性都市と推測されています。歴史と伝統に

輝く緑と湖沼のふるさと山辺町、最上川の流れる豊かな自然と優れた伝統をもつ中山町。この美しい風景と伝統文化を次世代へ引き継いでいく必要があります。この地域で生を受けた人間として、この地域に住む青年として、この地域を活動エリアとしている青年団体として、自分たちの地域に誇りと愛郷心を持ってまちづくりに取り組んでまいります。

2018年8月、新庄市など県北部の市町村が大雨で浸水等の被害を受けました。特に戸沢村では災害ボランティアセンターが設置されるほどの大きな被害がありました。災害が発生してから青年会議所の県内外へ広がるネットワークで支援を呼びかけ、各地の同志が支援に訪れました。この県内外に広がるネットワークと、瞬時に行動するフットワークが青年会議所にはあります。大地震、豪雨による浸水被害や土砂被害など地域を脅かす危険がいつ起こりうるか分からない時代です。有事に備え、各諸団体や他青年会議所と連携を高め災害支援のつながりを強固なものにする必要があります。防災意識の向上、災害対応の向上は愛郷心へとつながると考えます。助け合い、支え合う思いやりの心と笑顔溢れる地域を創造します。

【地域に根付く地域活性事業の確立】

昨年、山辺青年会議所は「第2回AGASUKEマルシェ」を開催させていただきました。2回目ではありましたが、主催としての開催は初めての挑戦でした。開催に至るまで本当に数多くの方々にご支援、ご協力をいただきました。そして、開催当日も地域のボランティアの方々や山形ブロック協議会内の会員の皆様にもご協力をいただきました。やまのべ・なかやま東村山地域の産業や歴史、魅力ある地域ブランドを町外に発信する目的で開催する地域活性事業「AGASUKEマルシェ」は地域に根付く継続事業として本年も事業構築を目指します。

この事業を地域に根付く継続的な事業にするために、地域に対する山辺青年会議所の影響力を高め、各諸団体・学校・企業・個人などと意見交換や連携をはかり未来を見据えた事業に進化させる必要があると考えます。昨年度の「AGASUKEマルシェ」を引き継ぎながら多くの方々の意見を取り入れながら山辺青年会議所らしい地域に根付く継続的な地域活性事業の確立をめざします。

【むすびに】

本年45周年を迎える山辺青年会議所は会員数も少ない小さなLOMです。しかし、地域の課題を見出しメンバー一人ひとりが英知を終結し解決策を見つけ、熱い情熱を持って一致団結し、勇気ある決断をし、行動を起こすとき地域住民の共感をよび、大きな運動へつなげる事の出来る団体です。人数では測れない力があるのが山辺青年会議所です。今、我々が地域の未来を想うとき、何をしなければならないのかを考え、未来を見据えた運動を展開してまいりましょう。

この地域に歴史と伝統があるように、山辺青年会議所にも高き志に基づく歴史と伝統が

あります。これまでの山辺青年会議所を築き上げていただいた先輩諸兄に敬意を表し、強い使命感と責任感を自覚し、明るい豊かな社会の実現のために共に歩んでまいりましょう。